

# 石川処分場を拡張、搬入開始

## ヤマゼン 容量約53万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>規模に

ヤマゼン(三重県伊賀

市、奥田貴光社長、

595・20・925

0)は、安定型の石川処分場(石川県志賀町)の拡張を完了、本格稼働に入った。

変更後の規模は、埋立面積が3万5424平方<sup>2</sup>、埋立容量52万8445立方<sup>3</sup>。それぞれ、1万1708平方<sup>2</sup>、21万7489立方<sup>3</sup>を拡張している。新規搬入営業も順調に推移し、ほぼ計画量を確保した。

石川処分場は、199

9年2月より埋め立てを開始。今回の変更前までは、31万956立方<sup>3</sup>だ

った。

場内には、展開場のスペースを設けており、搬入物の内容を徹底チェックできる管理体制をとっている。埋立廃棄物の情報管理(埋め立て位置等)に取り組みはじめた。

ヤマゼンは、1981年に三重県伊賀市(旧・上野市)で容量100万立方<sup>3</sup>の管理型の上野処分場を開設。次いで、1995年10月には、第2期120万立方<sup>3</sup>をオープン、現在も稼働させている。長期間にわたり蓄積した処分場運営のノウハウを、石川処分場へも反映させている。



増設工事後の石川処分場